



### 一足お先に♪ 宮崎の夏がやってきた!

「青島サーフィンセンター」が3月15日にオープンしました。安全祈願の神事後、早速、サンシャインレディが波乗りを体験しました。インストラクターによるレッスンが受けられるので、マリンスポーツ初心者でも安心して楽しめます。今年で10年を迎える同センター。多くの人の利用が期待されます。

### 高屋神社神楽が市指定文化財に

村角町(東大宮地区)に伝わる「高屋神社神楽」が3月3日、市指定文化財に指定されました。神楽面には、享保14年(1729)の記録があり、江戸時代から宮崎平野の農村地帯の生活の様子や五穀豊穡などの願いを込めて奉納されてきました。3月20日には、子どもたちによる神楽の奉納もあり、伝統を次世代へしっかりと受け継いでいます。



## Miyazaki Topics

宮崎市  
旬の話題 “みやとピ”



### 幻想的な天ヶ城公園 夜の桜も楽しみました

毎年、春になると天ヶ城の周囲を美しく彩る1200本の桜。今年は、LED照明で多彩なライトアップが行われました。高岡地域の子どもたちが作成したペットボトル型の手作り提灯も雰囲気を盛り上げ、ライトアップ期間中は、美しい光に囲まれながら、桜を楽しむ多くの人で賑わいました。

### 「宮崎市合併記念セレモニー」 を行いました

宮崎市は、平成18年1月1日に佐土原町・田野町・高岡町と合併してから10周年、平成22年3月23日に清武町と合併してから6周年を迎えました。これを記念した宮崎市合併記念セレモニー(3月21日)では、3世代親子が将来の抱負を宣誓。10歳の中川琴海さんは、力強く「未来のこのまちをもっともっと元気にする」と誓いました。



↓ 昭和44年5月号が電子書籍で読める!



今回の旅行先 昭和44年5月

ちょっと失礼 交通安全べからず集

今回発掘するのは、昭和44年5月号の「ちょっと失礼 交通安全べからず集」です。当時市内では、交通事故が毎日8~9件発生し、無理な追い越しや前方不注意、スピード違反、酒酔い運転などによる事故がますます増えていると述べています。春の全国交通安全運動にあわせ、今一度ハンドルを握る責任をよく考えて運転しましょうと、交通安全に対する意識を啓発しました。



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りバーコードリーダー」を推奨しています。



### 意外と知られていない自転車に乗るときのルール



親友でも一列進行



生活安全課  
交通安全推進員  
榎木 和臣

「交通安全べからず集」は、歩行者や運転者が気をつけるポイントをよく捉えていますね。特に、「親友でも一列進行」とありますが、これは現在もよく見る光景で、この頃から啓発されていることに感じました。今月は、自転車マナーアップ強化月間です。交通ルールを守り、思いやりを持って、安全運転を心掛けましょう。

携帯電話の使用禁止!



イヤホンなどの使用禁止!



傘差し運転の禁止!



生活安全課  
交通安全担当主幹  
本田 誠

いずれも  
5万円以下の  
罰金です!

その他の  
禁止事項

● 信号無視 ● 一時不停止

3か月以下の懲役または5万円以下の罰金

● 飲酒運転

5年以下の懲役または100万円以下の罰金 など

### 地名をたずねて 昭和36年4月 「どうめき(働馬寄)」

昭和36年4月から連載されていた「地名をたずねて」。市内のいろいろな地名の由来を当時の文章をもとにお届けします。



曾井城あとから働馬寄の村落をのぞむ。手前は曾井、向こうに白く見えるのは市街地のビル。

働馬寄(どうめき)というのは市内大淀にある集落の名である。「日向地誌」にものっていて、城ヶ崎の西の方にあたる古い集落である。「中略」  
近頃の郡司分という集落などは、郡司という役人の給料にあてられた田のあったところである。それで働馬寄にもなにかそんな意味があるかもしれない。すると馬寄というのは車寄と同じで、乗るための馬をつけるということの意味である。「中略」  
むかしは馬はのりもので今の車と同じであった。そしてここは曾井城の東に当るから働馬寄がドーメキになったのではなからうか。この近くの城ヶ崎の城も曾井城を指すものと思われるから、その西にあるこの集落は曾井城との関係を考えないわけにはいかない。